

>> なんちゃってトイカメラワールド <<

会員番号0775 小林まゆみ



小林まゆみ会員による研究報告



写真1 金文字が輝くライカのアクセサリ

「なんちゃって トイカメラワールド」と題してトイカメラに関しての話をしていただきます。

カメラの紹介をする前に、私のことを少し話させていただきます。AJCCに入ったきっかけは、高級カメラ店で働いていた時に、この会の大先輩であられる、服部さんに勧誘されて、クラシックカメラでの撮影会に参加したことが始まりです。その折、小山さんや高島さんに、AJCCにもぜひ参加してくださいと懇願され、今日まで、約30年になります。そして、今回が初めての研究発表となります。

この頃から、私はカメラの虜になってしまい収集が始まりました。みなさんのお手元に並んでいるような高級カメラは到底買えなかったもので、アクセサリから収集を始めました。特に、小さくて、赤い箱、金色で書かれたコード、そして、Germanyの文字に魅了されました。ライカのアクセサリです(写真1)。

かなりの量を集めました。これがきっかけで、ウィーンのカメラ博物館の創設メンバーに呼ばれて、ライカのアクセサリを担当し、暫くはウィーンで過ごしておりました。アクセサリを集めていくうちに、もっと素敵でデザインの良い箱に出会います。それは、コダックのVPKの、色物シリーズです。結構集めました。そして、カメラレビューNo.48でも特集を組ん



写真2 カメラレビューNo.48の特集

でいただきました(写真2)。

これらのセクシーなカメラと並行してトイカメラにも興味を持ち、ぼちぼち集めてきました。で、今回の研究発表に至るんですが、

知らない方もいるかもしれませんが、私は、このビルの5階でカメラ屋をやっています。先人の名高いコレクター方も高齢化、次の世代につなげていくお手伝いをしております。その中で、AJCCにもしばらくの間在籍していた浅井さんのコレクションを引き受けることになりました。名前を出すことはご本人に了承を得ております。浅井さんはトイカメラの大コレクターで、おもカメラワールドと題したホームページを持っています。なんちゃってカメラや、トイ

カメラ、変なカメラ「変カメ」などを紹介されて

ます。浅井さんのコレクションを一気に引き受けることになって、こんなにもおもちゃなカメラがたくさん揃うのはこの先もないだろうと考え、是非皆様にも見ていただければと、本日発表の機会を持たせてもらいました。それでは、進めてまいります。

～トイカメラの起源～

トイカメラの起源について、考えてみました。私の結論は、小さくて、何かに模造されたカメラ、所謂「なんちゃって」です。CAMERA CRAZZYという本に、起源についてよく調べら



写真3 T.スカイフがデザインしたピストルグラフ

れた序文が書いてあります。ダグレオから始めて、大きいカメラから、小さいカメラに変わっていく中で、あるものに似せた、模造されたカメラなどが登場してきます。本の中では、シャーロックホームズに魅せられたデザイナーによる探偵カメラの出現が書かれてました。それは、箱型のハンドバックのような、またはジャケットのボタンのような、でした。20世紀に変わるところにはピストルに模造したカメラなども出てきます。こう言った模造カメラ、今でもかなりの高額品ではありますが、実は、なんちゃってカメラの起源ではないかと考えてます。

～世界初のピストル型カメラ～

イギリスのトーマス・スカイフがデザインしたピストルグラフです(写真3)。1856年のものです。速度、1/10秒のメカニカルシャッターが搭載され、レンズはF2.2 Petzval。台座のケースに収納可能。大きさはどのくらいかというと、フィルムは1インチ四方のウェットプレートで



写真6 ベルギーのコレクター、ヤンさん、右隣は私も参加しているフェイスブック内のヤンさんの管理する「トイカメラコレクション」のグループ



写真4 世界最初に大ヒットしたトイカメラ
Kodak Brownie original

た。約2.5cm四方です。かなり小さいです。ほんとかどうかはわかりませんがこんなエピソードも残ってます。このカメラをコートに隠して、当時のヴィクトリア女王を撮影しようとしたところ、警官にとらえられたそうです。ピストルではなくカメラと分かってすぐに釈放されたというエピソードです。

～所謂トイカメラとは何か～

素材は、ボール紙やプラスチック製。ブリキ製や木製などもあります。ターゲットは、子供、学生やヤング世代。教育目的で作られたものもあります。とにかくシンプルに撮影を楽しむための理由から、単焦点、もちろん一枚玉、そして単速、1速。簡易で軽便なカメラ、軽くて、カラフルで、そして何より安い。コストを安く抑えたいので、販促品やノベルティ、賞品や景品等にもなりました。その数は確認ができないほど多数と思います。日本の円カメラもそれに当たると思います。そして、おそらく世界的に最初に大ヒットしたトイカメラがKodak Brownie original (写真4)ではないかと思っています。1900年に発売されました。元箱には、カナダの作家でイラストレータのパーマックス Palmer Coxが書いた妖精くんの物語「Brownies」のブローニー君がデザインされています。アメリカでも大人気のキャラクターだったので、子供をターゲットにするには最



写真5 ブローニーボックスカメラと
同時期の子供向けトイカメラ

適でした。初年度の出荷は、なんと、15万台、1900年ですよ。今では一般的な名称、ブローニーフィルムのブローニーは、カナダの妖精から来たんですね。この後、コダックは子供向けにガールスカウトやボーイスカウトなどのブローニーボックスカメラを販売していきま。同時期の子供向けトイカメラを少し紹介します(写真5)。赤い方は、オフエンスタッドのフォトクイント。ボール紙で出来てます。1900年のフランスのカメラです。黒い方は、メインペリーのハーヴァードカメラ。ブリキで出来てます。1900年のアメリカのカメラです。

ホートンエンサインのミッキーマウスボックスカメラ。1935年のイギリスのカメラです。コダックのガールガイドとボーイスカウトカメラ。1930年のイギリスコダックです。それから、フィルムと撮影技法、素材、マテリアルの進化に沿って簡単にカメラが造られるようになって、また供給も増えて、これに便乗した広告用カメラ、ノベルティカメラ、更には景品カメラなどの、トイカメラが続々と登場してきます。

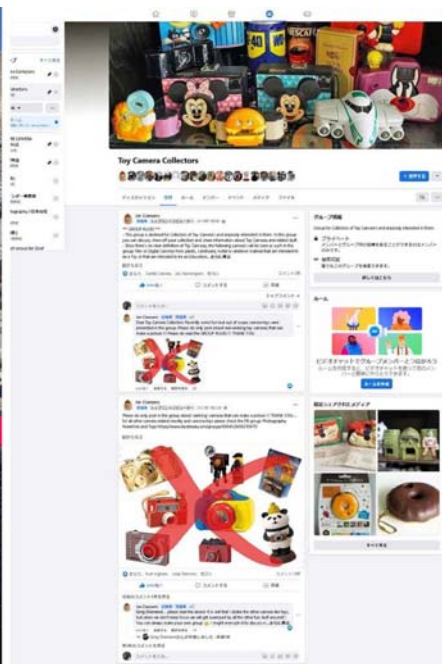
～世界のノベルティカメラ～

私はカメラが大好きで、いろんなものに巡り合いたいと思い、世界中のカメラショーに出かけ、世界中のコレクターと知り合いました。

写真6はベルギーのコレクター、ヤンさんです。隣は私も参加しているフェイスブック内のトイカメラコレクションのグループで、ヤンさんが管理しています。

1964年、ベルギーアントワープに生まれたヤンさんは、12歳の時から白黒フィルムで撮影、自身で現像とプリントもしてきたそうです。カメラの台数は4000台以上、持っているそうです。日本のブランドでは、ミノルタが好きで、450台あるそうです。が、ニフカレットをまだ追っかけてると言っていました。4000台のうち、トイカメラは700台だそうです。そしてなんとライカは1台も持ってないという、アンチライカの、私が尊敬するトイカメラコレクターの第一人者です。今回の研究発表で欠かせないのが世界のトイカメラだったので、ヤンさんにもご協力いただき、世界のノベルティカメラの写真を送ってもらいました。

そして、先ほど話した元AJCCの浅井コレクションと、ヤンコレクション、そして元私のコレクションの中から面白いものを写真にまとめました。スクリーンを見ながら説明していきま



す。注意点として、ノベルティカメラの殆どは、アジア圏で低コストで作られています。なので紹介時には、仕向国を明記しました(紙面上は省略)。

*ここからは写真とともにたくさんのトイカメラを、テーマ別に紹介をしましたが、紙面ではすべて紹介できません。選択して写真を掲載します。そして最後には展示していた変な形

のトイカメラを実演しながら紹介し、研究発表を終えました。トイカメラはまだまだまだたくさんあるので機会があればまた紹介します。

以上。

～ 缶型カメラ ～



コカ・コーラブランド缶

スヌーピー缶



ビール缶

ネスカフェ・ペプシ缶など

～ キャラクターカメラ ～



キティちゃん型

←ミッキーマウス型



ポケモン型

その他のキャラクター

～ 変型カメラ (その1) ～



クーちゃん型

世界の飛行機型

～ 変型カメラ(その2) ～



ロケット型

自動車型



変な形のカメラ色々



ほんとに変な形のカメラ



発表中の小林まゆみ会員